

市議会だより No.64 令和2年2月1日



きたあきた

1 2月定例会などの内容をお伝えします。

1 2月定例会の審議／人事案件	P 2
議案等表決状況／討論	P 3
常任委員会審査報告	P 4～5
所管事務調査報告	P 5～6
議会全員協議会／市議会議員研修会	P 7
一般質問	P 8～11
議会報告会	P 12～13
世界から見た「きたあきた」	P 14



作法で心を育む 毎月のお茶会
～ あいかわ保育園 民営化へ ～



一般会計 1億8348万2千円増
総額245億9980万4千円



令和元年北秋田市議会12月定例会は、12月5日（木）から12月17日（火）までの会期で行われました。12月定例会では、条例案10件、補正予算案11件、単行議案1件が提出され、すべて可決されました。また、請願、陳情及び継審陳情については、陳情2件、継審陳情1件を除く5件が採択されました。

なお、最終日に提出された人事案件2件、発議案5件については、それぞれ同意、可決されました。

12月定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 北秋田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
- 北秋田市保育所条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市農業委員会の委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市下水道事業の設置等に関する条例の制定について

主 な 補 正 予 算	補 正 予 算 額
秋田北鷹高等学校女子全国高等学校駅伝競走大会出場補助金	1, 0 0 0, 0 0 0 円
食の自立支援事業委託	2, 0 9 7, 0 0 0 円
教職員出退勤管理システム導入事業工事請負費	3, 0 5 5, 0 0 0 円
令和2年度小学校教師用教科書指導書（更新）	1 4, 2 1 8, 0 0 0 円
道路維持工事請負費（繰越明許費）	5 0, 8 0 0, 0 0 0 円

人事案件

12月定例会に人事案同意案件が追加提案され、次のとおり同意することに決定しました。

阿仁合財産区管理

委員の選任について

- ◎伊藤 雅彦 氏（新任）
- ◎中島 勇 氏（再任）
- ◎湊 一彦 氏（再任）
- ◎片岡 長悦 氏（新任）
- ◎館岡 鐵美 氏（再任）
- ◎菊地 満 氏（再任）
- ◎小林 博 氏（新任）

大阿仁財産区管理

委員の選任について

- ◎鈴木 明喜広 氏（新任）
- ◎松橋 祐藏 氏（再任）
- ◎鈴木 美千英 氏（再任）
- ◎田中 喜男 氏（新任）
- ◎山田 昌藏 氏（再任）
- ◎西根 邦明 氏（新任）
- ◎鈴木 慶勝 氏（再任）

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	所属会派・議員氏名 採決結果	採決結果	新創会					みらい					緑風・公明			共産党 議員団			無会派		
			佐藤 重光	虹川 敬	杉渕 一弘	佐藤 文信	松尾 秀一	松橋 隆	佐藤 光子	大森 光信	中嶋 洋子	黒澤 芳彦	堀部 壽	小笠 原寿	武田 浩人	関口 正則	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋 範子	山田 博康	福岡 由巳
【令和元年12月定例会／令和元年12月17日採決】																					
継審陳情第18号 市議会として、秋田市新屋への地上イージス 配備反対の意思表示を求める陳情について	継続 審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●
陳情第21号 若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現 を求める陳情について	不採 択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●
陳情第22号 お金の心配なく、国の責任で、安心してくら せる社会の実現のため社会保障制度の拡充を 求める陳情について	不採 択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
発議案第14号 北秋田市議会政務活動費の交付に関する条例 の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※全会一致の可決、採択については除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

▼継審陳情第18号

(※継続審査とする
ことについて)

反対討論

山田 博康 議員

議員個人の責任で賛否を明確にするのが議員に課せられた責務でありいたずらに継続審査すべきではない。

賛成討論

虹川 敬 議員

日本全体の国防にかかわる重要な案件であるため、防衛省の調査結果を踏まえ賛否を決定すべき。

反対討論

福岡 由巳 議員

7月の参院選秋田選挙区では新屋配備反対の候補が当選し、県民の反対意思が明確になった様に陳情を採択すべき。

反対討論

板垣 淳 議員

県民の大きな関心事なのに政治に携わる者が意思表示しないとはお粗末。県民の願いに応える議会に。

▼陳情第21号

賛成討論

久留嶋 範子 議員

マクロ経済スライドでは、若い世代ほど削減幅は大きくなる。減らない年金制度にするのが、第一歩です。

反対討論

杉渕 一弘 議員

マクロ経済スライドを廃止することは、年金給付費と保険料収入のバランスを崩すため、年金制度の崩壊となる。

賛成討論

福岡 由巳 議員

2千万円貯えろと言う「百年安心年金」制度は既に崩れている。誰でも安心できる年金制度の実現を求めるべき。

▼陳情第22号

賛成討論

三浦 倫美 議員

国民の生活の権利を守り、北秋田市民の福祉を守り向上させるためにも、国の社会保障制度の拡充が重要です。

賛成討論

福岡 由巳 議員

憲法第25条に基づき国の責任で安心して暮らせる社会保障制度の拡充を求めている陳情でぜひ採択すべき。

▼発議案第14号

反対討論

福岡 由巳 議員

議員報酬7万円引き上げて未だ5年、政務活動費も予算を伴う案件、市民に説明せずの議決は時期尚早で反対。

賛成討論

松橋 隆 議員

地方議会の活性化を図るため、また議員の調査研究として議員の資質向上を図るためにも政務活動費は必要である。

賛成討論

武田 浩人 議員

調査や研究に取り組み、得た内容や先進事例等を市政に反映させられるよう提言を行うなど不断の努力を行います。

12月定例会

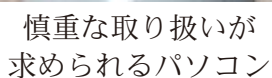
非常勤職員の待遇改善へ

予算案では、電算費について委員から、「ハードディスク等の廃棄の状況は」との質疑があり、当局からは「職員が立ち会い、ハードディスクの破壊まで確認している」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、全会一致で、原

イー・ジェス反対の陳情は継続審査

継審陳情「市議会として
 秋田市新屋への地上イージ
 ス配備反対の意思表明を求
 める陳情」については、
 「県民の不安の声に市議会
 として寄り添ってこの陳情
 は採択するべき」、「当事
 者で管轄の秋田県、秋田市
 がまだ継続審査中であるこ
 とから、慎重に調査するべ
 きであり、継続審査を求め
 る」との意見があり、採決
 の結果、賛成多数で継続審
 査とすることに決しました

（委員長 大森 光信）



市立あいかわ保育園は民営化へ

北秋田市保育所条例の一部を改正する条例の制定については、委員から「あいかわ保育園が民間移管されることで、現在勤務している職員の処遇について」の質疑があり、当局からは「正職員に関しては残りの4つの保育園で調整。非常勤職員は市の保育園に残る職員と民間移管される保育園とに分かれますが全職員が勤務できます」と答弁がありました。

休日勤務手当の
運用を見直し

令和元年度一般会計補正
予算案では、委員から「消
防職員の休日勤務手当
1170万6千円の増額補
正について」の質疑があり、
当局からは「消防職員の交
代勤務者も、一般職員と同
様に、週休2日制度の中で

以上の審査結果、条例1件、予算案7件は全会一致で可決すべき、陳情4件は全会一致で採択すべき、2件は不採択とすべきと決しました。

(委員長 佐藤 文信)





3つの常任委員会

産業建設常任委員会

北秋田市農業委員定数一人削減

当委員会に付託された案件は条例6件、予算案4件の計10件でした。

北秋田市農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について質疑があり、当局から「選任委員であった鷹巣町農協とあきた北央農協の合併に伴い、基準より1人多かった定数を政令で定める基準の37名にする。定数の根拠は農地面積の基準では最高47名であるが、農家数の基準もあり37名の定数となっている」との答弁がありました。

水道料金の督促手数料、延滞料金不徴収

北秋田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について質疑があり当局から「令和2年4月から水道局として発行する納付書を上下水道同一の様式に変更する。水道局のすべての料金を上水道料金に合わせ督促手数料及び延滞金を不徴収として取り扱うも



新設される鷹巣浄水場

の」、督促手数料について「督促状1件につき百円徴収していたが、民法の改正に合わせて不徴収するように定めた」延滞金について「いままでは延滞金により、納付書の額が変わった場合は手書きで対応していたがコンビ二決済やキャッシュレス決済のバーコードではできないため、延滞金の徴収はせずに料金回収の利便性を優先した」との答弁がありました。

（委員長 堀部 壽）

以上のような審査を踏まえ付託された全ての案件を全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

所管事務調査報告

喜多方市、一関市を視察研修

総務文教常任委員会 所管事務調査

総務文教常任委員会の所管事務調査は、11月12日、13日に、福島県喜多方市と岩手県一関市で行いました。

最近増え続ける高齢者の事故を解消するための免許返納者への対応、投票所の削減や投票率改善に向けた取り組みの視察が今回の調査の目的であります。

地域公共交通の

先進事例を視察

喜多方市では持続可能な地域公共交通の実現に向けて路線の再編や予約型乗合交通の導入や利用促進などの取り組みを実施しております。これにより交通空白地区が解消され、財政状況の効率化も図っております。また、運転免許自主返納者の支援として、対象者にデマンド交通の回数券やタクシーの助成券を交付しております。

投票環境改善への取り組み

一関市では、さらなる投票率の向上を図るため、有権者が投

票しやすい環境を整備しております。商業施設等での期日前投票所の複数箇所開設、旧投票所や高校を巡回する移動式の期日前投票所の試験的開設、高齢者や障がい者へのデマンド型による移動支援など有権者の利便性を高めるため様々な方法を展開しております。

高齢者の移動支援や投票率の向上は、本市においても喫緊の課題であるため、今回の調査を活かし議論してまいります。



一関市での研修のようす

事務報告
所管調査

北本市、吉川市を視察研修

市民福祉常任委員会 所管事務調査

当委員会では、子育て世代包括支援センターとみらいステップアップ助成事業について11月5日、6日に調査を実施しました。

子育て世代包括支援センターについて

北本市では、子育てして良かったと思えるよう、子ども課と健康づくり課を同じフロアに設置。妊娠届時に面接及びアンケートの実施と合わせて、母子手帳の制作時に名刺サイズの電話相談カードを渡し、直通の電話番号を登録してもらい、妊娠後期の電話連絡がスムーズに行えるように工夫。さらに出生届時の面接も強化し、既存の制度との間を埋める作業を新規事業として実施。一番大事な時期に寄り添える乳幼児家庭全戸訪問を検討。産科と小児科、保健師等による連携の強化も図られていました。

みらいステップアップ

助成事業について

吉川市では、多種多様な社会課題は行政だけでなく市民活動団体

やNPOが持つ専門性や迅速な対応が重要と考え、公共公益的の市民活動団体への助成制度を創設。スタート助成として結成1年未満の団体に上限額10万円の助成。ステップ助成として事業の拡大、充実に要する経費の3分の2までで上限額50万円の助成。合わせて3年間まで利用することができ、事業報告結果、行政に係わる協働事業や委託に移行する場合もあり、市民活動の高さが伺われました。



北本市での研修のようす

事務報告
所管調査

東御市、朝霞市を視察研修

産業建設常任委員会 所管事務調査

産業建設常任委員会では、11月7日、8日に長野県東御市、埼玉県朝霞市において、夏季のスキー場利用と水道施設について調査を実施しました。

高地トレーニングによる集客

東御市では、以前は多くのスキー客などで賑わいのあった湯ノ丸高原であるがブームのかげりから近年は低迷している。観光客の呼び戻しのためにスポーツ交流施設整備計画を策定し標高1750mに高地トレーニング用施設として全天候型トラック、ランニングコース、屋内温水プール、宿泊施設を整備した。現在は国内のトップアスリートを始め多くの方の合宿に利用されている。整備費はふるさと納税などの寄付金を財源としているということでした。

水道施設による小水力発電

朝霞市では、地球温暖化対策として浄水場に小型の発電機を設置している。この発電施設は、水力

発電事業者と共同事業で行っており、朝霞市としては、設置場所の提供、水量水圧などの情報提供のみとし、その他の発電機の設置、保守管理等はすべて事業者の負担とした。工事は施設の更新時に合わせて発電機を設置したため設置費用が抑えることができ、小型の発電機でも固定価格買取制度を活用し、売り上げの一部を水道事業会計の収入とすることができたということでした。



朝霞市泉水浄水場での研修のようす

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請 願 ・ 陳 情 者 氏 名	結 果	意 見 書
(継続審査) 市議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の 意思表示を求める陳情	ミサイル基地イージス・アショアを考える秋田 県民の会 代表委員代表 川野辺 英昭	継続 審査	
免税軽油制度の継続を求める請願	東北索道協会 秋田地区部会 会長 東海林 文和 特定非営利活動法人 森吉山 理事長 片岡 信幸	採択	提出
ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者 の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川 洋基 秋田県労働組合総連合 議長 加賀谷 俊悦	採択	提出
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書 の提出について	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川 洋基	採択	提出
若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川 洋基 秋田県労働組合総連合 議長 加賀谷 俊悦	不採択	
お金の心配なく、国の責任で、安心してらせる社会の 実現のため社会保障制度の拡充を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川 洋基 秋田県労働組合総連合 議長 加賀谷 俊悦	不採択	
介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関 する意見書の提出について	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川 洋基	採択	提出
「深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退 など地方における公立・公的病院のおかれている医療事 情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な 再編・統合は行わないこと」を国に求める意見書提出の 陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	採択	提出

議会全員協議会

第4回議会全員協議会が
11月20日に開かれ「新市建
設計画（新市まちづくり計
画）の変更の骨子につい
て」及び「北秋田市消防本
部再編計画について」の説
明がありました。

当局から「合併特例債の
発行期間が5年延長され、
合併後20年間となったこと
から、合併特例債の活用
のための根拠計画である新
まちづくり計画の変更を行
い、令和2年3月定例会に
提出する予定」と説明があ
りました。

また、当局から「施設の
老朽化、救急需要の変化、
人員不足から消防本部のあ
り方を再検討し、消防署所
の再編計画」について提案
があり、方針として、「森
吉分署と合川分署の統合」
「阿仁分署・上小阿仁分署
の出勤区域の見直し」「阿
仁分署を高台に移転し、ヘ
リポートを併設」「消防本
部の更新」について説明が
ありました。

第5回議会全員協議会が
12月10日に開かれ黒澤議長
から議会運営委員会へ諮問
のあった「議会改革の検証
及び推進項目について」の
報告がありました。

小笠原議会運営委員長か
ら「これまで、一般質問
（会派代表質問の実施）、
委員会の運営（2年交代制
の実施）、議会研修の充実
強化（政務活動費の実施）
など8項目について検討し
てきた結果、3月定例会時
の市長の施政方針に対して
の会派代表者質問は行うべ
き、また、政務活動費につ
いては、地方自治法や県内
市議会の状況から政務活動
費は必要とし、支給額は月
1万円が妥当」などと報告
がありました。

議員からは「政務活動費
の実施については、さらに
検討を進めてもらいたい」
と意見があったものの、12
月定例会に議員発議で条例
案を提出することを確認し
ました。

秋田県市議会 議員研修会

秋田県市議会議員研修会が
11月19日に開催されました。
研修会では、会津若松市議
会議員の目黒章三郎氏を講師
として、「議会『改革』の本
質を語り合おう」をテーマに
「地方議会は『民主主義』学
校になっているか」、「議会
の目的は、住民自治の充実に
よる住民福祉の向上である」
などの自ら会津若松市議会で
行った議会改革の経緯や実践
方法など多岐にわたり講演い
ただき貴重な研修となりました。



秋田県市議会議員研修会

活かそう市民の声 市政を問う! 一般質問

子ども行政の一元化を

佐藤 光子（みらい）



Q 子ども福祉や教育の連携が取れていない場面がある。より専門性を持つ子ども行政の一元化を図るためにも専門課の設置を。

A 担当者協議を設けるなど、施策の推進と課題解決に努めている。各種制度の把握や実地経験などの専門的な知識が求められることから、研修等も含め今後の検討課題とさせて頂きたい。

Q 子育て世代包括支援センターについての概要や設置時期は。

A 保健師・助産師を配置し、専用相談電話を設置して、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談及び支援を実施。来年度秋に開設。

Q 除雪困難者宅の門口への「思いやり除雪」などの取組みや、パソコンやスマートフォンで除雪出

動有無確認や除雪車の現在地確認等、先端技術を活用した除雪車運行管理システムを導入する自治体が増えてきている。当市の状況は。

A システム導入している自治体から内容等を伺いながら、当市にどう反映出来るか調査し、より一層住民に優しい除排雪が出来るよう努めてまいります。

Q 平成30年12月定例会において全会一致で採択された「知的障が

い児者、重症心身障がい児者支援の拡充を求める請願書」について庁内でどのように扱われ、現在どこまで進んでいるのか。

A 現在、障がい児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築のために、迅速確実な相談支援事業を行うべく検討しているところであり、市内関係法人等と意見交換を行いながら実施に向けて連携し協議を進めてまいります。

Q 市内在住の義務教育課程中の児童生徒が支援学校に通学する場合、県で対応できない区間の通学方法をどのように考えているか。

A 県立特別支援学校側で通学方法について対応しているが、今後市でも検討していく。



除雪作業のようす

防災・減災の取組みについて

杉渕 一弘（新創会）



Q 洪水・土砂災害のハザードマップ及び指定避難所の見直しを。

A 市内全戸に平成28年5月作成の防災マップを配布しているが、その内容は、10年から100年に一度の大雨による河川の氾濫を想定し国と県が指定した洪水浸水区域図を基に作成した。平成27年の水防法改正に伴い、県では、県河川である阿仁川・小阿仁川の想定

最大規模の降雨による洪水浸水想定区域等を令和2年度までに指定する予定のため、その指定を受けて、見直しを行い、防災対策の充実を図ってまいります。

Q 防災ラジオの普及状況と情報伝達は。

A 平成30年度末現在の防災ラジオの貸与台数は8204台、普及率は69・9％となっています。阿仁地区の一部に不感地帯があるため防災行政無線を併用しているが、法の改正により防災行政無線が令和4年11月で使用できなくなりま

す。このため新年度に高津森クロスカントリーコース駐車場携帯基地局周辺に新たに送信局を設置し、市内全域が配信エリアとなる予定です。

また、情報判断・伝達マニユア

ルについては、平成31年3月に避難勧告等に関するガイドラインが改正されたことから改定を行っています。

Q マイナンバーカード取組みの状況と今後の展開は。

A 令和元年10月末で申請が3746件、交付が2937件であり、広報や新聞、ホームページへの掲載、ポスター掲示等で広く周知を図っている。今後はコンビニ交付サービスも令和2年2月中旬開始予定ですので、改めて周知を図ります。



準用河川の保全を（増沢川）

武田 浩人（緑風・公明）

A マイナンバーカードを利用したの交付サービスの開始は、令和2年2月中旬を予定しております。

Q 防災ラジオが有効に活用されているかなど、活用状況の確認を行うことについて、阿仁地区の不感地域への配布計画について伺います。

また、阿仁地区の防災ラジオの配付は、不感地域の解消のため、新たに送信局を設置してからとなりますので、来年度末を目途に行う予定であります。

A white mobile phone with a large black antenna and a small screen, sitting on a black surface. The phone has a numeric keypad and several function buttons. The screen displays some text and numbers. The phone is connected to a black cord.



山田 博康（無会派）

地域によつては自治機能が働かない状況に成りつつある処も発生しております。それぞれの地域により課題も多様であります。少子化の進行で学校統合が進み、地域コミュニティの拠点が無くなりつつある現在それぞれの地域が抱える行政課題を住民自らが考え、その課題解決に対処する住民主体で運営する地域協議会の設立を提言します。地域課題はそこで暮らす住民が自らの問題として関わり合う組織体を作る事が今後の行政運営に重要であり、先進地に足を運び、調査研究し昭和の合併前の4町村を単位とした協議会をモデル的に設立し、運営に必要な財政支援をする住民自治の実現が急務と考えるが見解を求めます。

An illustration of a business meeting. A man in a suit and glasses stands on the left, holding a clipboard and pen, addressing a group of four people seated around a white table. The seated individuals, two men and two women, are also in business attire. They are looking towards the standing man, with some having papers and pens on the table in front of them.

防災計画に豪雨災害対策編の策定を

福岡 由巳（無党派）



Q この秋は度重なる台風が直撃し短期間で二重災害の地域もあり、もはや50年に一度の災害ではなくなっているが本市の防災にかかわつての教訓・課題は何か。

A 災害時多様な対応が求められることから防災ラジオなどを利用した早い段階での避難の呼びかけ、速やかな情報提供に努める。

Q 北秋田市地域防災計画には震災対策編があるが、この秋の豪雨災害や本市でも経験していることから豪雨災害対策編も策定すべきでないか。

A 現在、県が地域防災計画を見直し修正しているところであり、それらを踏まえて内容を検討したい。

Q この秋の災害では、気象庁の早い情報提供にもかかわらず適切でない事例が多くみられたが、築堤が未整備な現状に対する対策、バックウォーター現象に対する対策、防災マップの整備、ダム放流に対する連絡体制の確立、関連死などを極力少なくする避難所のあり方等々減災を含めた計画の充実が求められるが見解はいかがか。

A 地域防災計画は、災害時の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る減災の考え方を防災の基本理念とし、被災した場合も人命が失われないことを最重視して今後適時に修正を行い最善の計画となるように努める。



平成19年の市内豪雨災害

Q 案内板、立札等の充実について関係各機関と協議しながらのことであるが、急がなければならぬ箇所もいろいろあるので、当局の方から率先して改善することをお願いしたい。

A 自治会や来訪者の方々からも話があるので、協議が必要ならば協議し適宜急いで手がけたい。

全校にエアコン設置へ

板垣 淳（日本共産党議員団）



Q 「教室にエアコン設置を」の質問に市は「調査・検討する」と答弁してきた。調査・検討の結果どうすることにしたか。

A 2021年夏までにすべての学校に設置する。

Q うれしいが、来年の夏までに付けられないか。

A 努力する。

Q 今年6月議会で当市の自衛隊員募集協力の仕方は「憲法や法律に抵触している。是正すべき」と質問した。その後どのようにしているか。

A 議員から指摘されたとおり変更した。

Q 市職員の労働環境について。5段階評価で個々の職員の給与を上げたり下げたりするのは間違っている。

A 公務員法変更で実施しなければならなかった。

Q できるだけ影響を少なくするように。

A 検討したい。

Q 以前、非常勤職員にも「ボーナス支給を」と質問したが、来年度からの会計年度任用職員制度によって支給されることになった。



そのことはうれしいが、人件費増を嫌がって市役所の窓口などの民間委託を進めているところもある。当市ではそういうことはしないように。

A 人件費を理由とした民間委託は考えていない。

Q 当市の障がい者法定雇用率の水増しは大変シロツク。

A 現在は改善した。

Q マイナンバーカードの取得は任意なので、市職員にも強制しないように。

A 協力いただいているものであって、強制はしていない。

女性が安心して活躍できる社会へ

久留嶋 範子（日本共産党議員団）



Q 女性が安心して社会で働き続けるための対策について伺います。女性差別撤廃条約が採択され40年経つが、日本での性差別の実態はなかなか変わっていません。どのように認識しているか。

A 男女共同参画計画に基づき、働く女性の支援に努めています。今後、様々な場面を通じて、男女がともに意識を変え、協力していく社会づくりへ取り組んでいきます。

Q 市は「女性職員の活躍の推進に関する特定事業主計画」を策定したが、どのように進めているか。

A 管理的地位への女性職員の登用については、目標値を4名10%以上としているが、平成31年4月現在3名となっている。今後は人材育成を目的とした研修など充実させ、職員の資質向上に努めたい。

Q 女性消防吏員の採用の時期は、男女の区別なく募集しているが、平成28年の一人の応募を最後に女性からの応募はない。この度の消防再編に伴う施設整備が、女性が応募しやすい環境づくりの一助になるのではと期待している。



女性消防吏員の採用はいつ

出入口（間口）の雪よせの担い手不足の対策は。

A 11月末現在申請件数は803件で、さらに増加する見込み。高齢者のひとり暮らしが全体の8割、間口の雪よせの希望は5割を上回っている。自治会との協働、地域住民との議論が必要と考える。

Q 一般の空き地を地域の雪よせ場として開放した場合、固定資産税の一部を減免する場合、固定資産税が、利用状況は。

A 本年度は、鷹巣地区と合川地区の町内会が各一ヶ所、森吉地区の二ヶ所、計四ヶ所で活用してもらった。

激甚化する各地の災害から教訓を

三浦 倫美（日本共産党議員団）



Q 災害時自治体間の相互支援は。県内24市町村、秋田県と相互応援協定。県外5市町と相互応援協定、1市と相互援助協定を締結。

A 台風19号対応は、これらの協定によらず消防庁長官からの緊急消防援助隊派遣要請で、秋田県大隊第1次隊、第2次隊12名を宮城県丸森町に派遣。被災者の救助、捜索活動、安否確認。水槽タンクを持ち込み、水の確保等行いました。

また、「被災市区町村応援職員確保システム」により、秋田県が宮城県角田市の支援団体に決定し、県内市町村に派遣要請があり3名の職員を派遣。罹災証明を発行するため家屋一軒一軒の被害状況調査。災害廃棄物の分別や指定場所への誘導等を行いました。

丸森町へ派遣された消防職員の報告会では、教訓として、近所同士の迅速な避難行動の事例が多く、コミュニケーションを上げる訓練の必要性、自主防災組織の結成率の重要性を再認識したとの報告でした。

角田市に派遣された職員からは罹災証明発行が優先度の高い業務であると再認識し、研修の必要性や災害廃棄物の円滑な処理推進へ

災害廃棄物処理計画策定に活かしたいなどの報告でした。

Q 福祉避難所について。要援護者に対する特別配慮がなされた二次避難所で、市内の高齢者施設15施設、障がい者施設8施設、特別支援学校1施設の計24施設と協定を締結しています。

A コムコムや自治会館等の一次避難所に避難した後、必要な方が移動することになります。特に介護度が重い方などは福祉避難所ではなく緊急入所等を含め、特養や短期入所などで適切な対応を行うこととなります。



被災地派遣職員が捜索活動

議会報告会

毎年開催しております議会報告会が令和元年10月13日（日）に市内4箇所で開催し、合計42名のご参加をいただきました。

当日のご意見・ご要望については、議会運営などへの貴重なご意見とし議会運営委員会と議会として内容を協議いたしました。

お忙しい中ご参加していただきました市民の皆様ありがとうございます。今後とも多数の方のご参加をお願いします。



議会報告会(合川地区)

鷹巣地区 参加者 11名

参加者は11名と少ない中、活発な意見交換がなされました。令和元年度の当初予算案を中心に報告・質疑応答の後、議員及び参加者それぞれ2班に分かれて意見交換を行いました。特にキャラクター事業のあり方や観光振興による外貨の獲得、未婚者の減少策、若者定住策や高齢化対策、内陸線の赤字問題やクマ対策など多岐に渡って話し合いました。いずれも少子高齢化・人口減少に起因する課題が多く今後の議会活動に活かして参りたいと思います。

合川地区 参加者 13名

議会報告に対しては、地上イージスに関する陳情の継続審査理由や伊勢堂岱遺跡についての景観計画策定業務委託などへの質疑がありました。その後の意見交換では「地域課題について」をテーマとし、阿仁部地域の循環バスを含む公共交通網計画についてや合川公民館建て替え、熊対策等多くの問題・要望等があり、今後の議会活動へ活かすこと、また市当局へ伝えることと致しました。また、名称を「市民と語る会」などに変えるべきとの意見もありました。

◎松橋隆 小笠原寿 佐藤光子 福岡由巳 松尾秀一

◎関口正則 虻川敬 久留嶋範子 大森光信 佐藤重光

森吉地区 参加者 9名

最初に議会側からの報告に対し、景観計画策定業務とキャラクターを活用したプロモーション事業とは、との質問がありました。意見交換として、森吉野球場存続のお願い、森吉橋の歩道の除雪について、防災のために阿仁川の砂利の除去と河川敷の草刈、内陸線の運行時間の見直し、阿仁の学校統合問題、市民バス利用について等の貴重なご意見、ご進言をいただき、皆様の声を今後の議会活動に十分活かしてまいります。

阿仁地区 参加者 9名

市民の意見として、ぶな森トンネルは、観光路線として重要であり期成同盟会を発足させて進めていただきたい。また、災害時における避難所は、幸屋渡から下新町まで広範囲で大阿仁小学校の1か所です。不安である。空き家対策はどのようになっているのか、除雪に対して地域事情を考慮するように。児童館の老朽化に伴う改修時における補助事業について。特産品開発としてゼンマイの栽培技術の確立への支援等の発言があり、議会活動に活かしてまいります。

◎佐藤文信 山田博康 武田浩人 板垣淳 黒澤芳彦

◎堀部壽 三浦倫美 杉渕一弘 長崎克彦 中嶋洋子

議会に対するアンケート結果

議会報告会で参加者にご協力いただきましたアンケートの結果について一部抜粋してお知らせします。

問 今回の「議会報告会」をどのよう
にお感じになりましたか。

①開催時期

・良い

・悪い

・どちらともいえない

②曜日・時間帯

・良い

・悪い

・どちらともいえない

③開催場所

・良い

・悪い

・どちらともいえない

④内容

・わかりやすかった

・わかりにくかった

・どちらともいえない

問 今回の「議会報告会」の評価についてお尋ねします。

・評価する

・評価しない

・どちらともいえない

問 「議会報告会」で取り上げる「意見交換」のテーマについてお聞かせく

5 1 27

7 2 21

2 0 34

3 2 31

3 2 29

ださい。

①どのような「意見交換」のテーマが
よろしいですか。(複数回答可)

- ・ 行政について 18
- ・ 財政について 9
- ・ 市民生活について 23
- ・ 福祉について 10
- ・ 産業について 9
- ・ その他 4

問 より多くの市民の方に参加しても
らうために「議会報告会」の形式につ
いてお尋ねします。

①どのような形式がよろしいでしょう
か。(複数回答可)

- ・ 従来のままでよい 9
- ・ ワークシヨップ形式がよい 6
- (自発 的対話・討議方式)
- ・ 座談会形式がよい 11
- ・ ワールドカフェ方式がよい 6
- (少人数グループディスカッション方式)
- ・ その他 4

②複数回答された方にお尋ねします。
年に何度開催したら良いと思いますか。

- ・ このまま年1回でよい 12
- ・ 年に数回は開催して欲しい 5
- ・ 年2回 1
- ・ 年4回 1
- ・ 年数回 1

問 北秋田市議会では議会改革の推進
を行っています。改革に取り組む課題
は何だと思えますか。(複数回答可)

- ・ 「議会報告会」のさらなる充実 7

- ・ 市民アンケートの実施 10
- ・ 議会ホームページの充実 0
- ・ 議会知識の習得 4
- ・ 政策研究の実施 6
- ・ 議員報酬・政務活動費の検討 4
- ・ 市議会だよりの充実 3
- ・ 議員定数の検討 3
- ・ その他 1

問 北秋田市議会では平成31年3月か
ら本会議のインターネット映像配信を
行っています。

①インターネット映像配信をご覧にな
りましたか。

- ・ 生中継で見た 5
- ・ 録画で見た 2
- ・ まだ見てない 20
- ②見た方にお聞きします。
インターネット映像配信はどの媒体で
閲覧しましたか。(複数回答可)

- ・ 自宅のパソコン 4
- ・ 職場のパソコン 0
- ・ 職場のタブレット 0
- ・ スマートフォン 0
- ・ コムコム・庁舎・支所 4

③引き続き、見た方にお聞きします。
見た回数ほどのくらいですか。

- ・ 各定例会ごとに見ている 1
- ・ ときどき見ている 1
- ・ 数回程度 4
- ・ 1回しか見ていない 1

④引き続き、見た方にお聞きします。
映像配信は見やすいでしょうか。

- ・ 見やすい 3
- ・ どちらかといえば見やすい 2

- ・ どちらかといえば見にくい 1
- ・ 見にくい 0
- ⑤インターネット映像配信をご覧にな
った方も、見てない方もお聞きします。
映像配信で興味のある部分はどの箇所
でしょうか。(複数回答可)

- ・ 市長の施政方針、議案説明、
大綱質疑 8
- ・ 一般質問 16
- ・ 委員長報告、質疑、討論、採決 5
- ・ 常任委員会(現在は配信されてません) 3

問 その他、本日の感想や議会に対す
るご意見、ご提言等をご記入願います。

- ・ 議員の皆さんが初心を忘れずに。
参考になりました。
- ・ 今回のグループディスカッション方
式は、議員とひざを突き合わせて話
が出来て評価します。
- ・ 大野台の活用方法、新庁舎建設、宅
地造成、墓地公園について、当局、
議会一体となつて対策を。
- ・ 議事進行に工夫を凝らす必要がある。
要望を伝えられたのでよかった。議
会で話題にしていたけるとありが
たい。
- ・ 要望や意見交換が多かったのでタイ
トルを「報告会」と「意見交換会」
としたらどうか。

※ アンケートにご協力いただき誠に
ありがとうございます。
今後の議会改革の参考意見として、
活用させていただきます。

市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています》

- 対 象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方 法 手紙、FAX、メールなど
(文字で読める形式のもの)
- 公 表 ご意見をホームページや広報紙で
公表する場合があります。

- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号
北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

世界から見た「きたあきた」

北秋田市のような美しい田舎町に住むのは初めてです。市民がとても親切で、例えばコンビニに行っても、必ず知り合いから声をかけられます。自分が勤務している学校の児童生徒を見かけることもあり、よく次の授業のネタになります。都会出身の私はなかなかこういう経験が今までにないのです。都会の人々は常に忙しく、困っているように見える人（私みたいな）の手助けをしてくれないことが多いです。逆に言えば、月曜日に出勤すると、すでにみんなに私の土日の外食先まで知られるのがびっくりですが、街中で人と会うたびに、優しくて微笑まずにはいられません。このような行動を真似して、自分もよりよい北秋田市民になりたいです！



出身のプロビデンス市



4人の兄弟と一緒に



伊勢堂岱遺跡にて



ハンガリーにて留学

自己紹介



はじめまして！ケリー・キングです。鷹中・森中のALTです。アメリカの一番小さいロードアイランド州から来ました。大都会であるその州都のプロビデンス市出身です。都会にしか住んだことがなく、田舎に住むのは北秋田市が初めてです。田舎の方では、コミュニティ感が強く感じます、それをこれから経験できることを楽しみにしています。

趣味は教会でピアノを弾いたり、旅行したり、新しい食べ物を食べたりすることです。秋田に住みながら、日本各地や隣国にもたくさん行ってみたいです！大学で日本語を勉強し、今でも練習できればと思っています。北秋田市で私のことを見かけたら、ぜひ話しかけてください！よろしくお願ひします！

次の定例会と
各常任委員会は
「3月」です
市民の皆さまの傍聴
をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（本庁舎）
市民福祉（本庁舎）
産業建設（本庁舎）

広報特別委員会
委員長 杉 渕 一 弘
副委員長 三 浦 敬 美
委員 佐藤 武 重
佐藤 光 人
佐藤 光 子
佐藤 光 人



©1976, 2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No.G603868

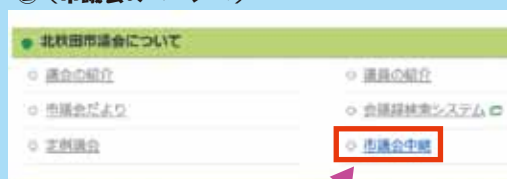
本会議の生中継や録画映像が パソコンやスマートフォンでご覧になれます

①〔北秋田市ホームページ〕



①北秋田市議会をクリック

②〔市議会のページへ〕



②市議会中継をクリック

③〔議会中継のページへ〕



③再生をクリック
(本会議の生中継がご覧になれます)